

せたがや 町総連だより

第49号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林4-31-9ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 山野井 崇 二

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 堀江 義之

「町総連トークイベント」第3回も大盛況！



昨年12月8日(土)、北沢区民会館ホールで東京オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成のためのトークイベントを実施しました。

約200人が来場され、大盛況となりました。

町会総連合会を代表して、山野井会長から、「町会・自治会が、オリンピック・パラリンピックの成功という区民共通のテーマに取り組むことで、世界の人々に、我がまち世田谷の良さを知ってもらうために、私たち一人ひとりが何をしたら良いのかを考える機会になれば幸いです。」と挨拶をして幕を開けました。

第一部は、落語家の三遊亭竜楽さんによる「8カ国語落語で笑おう～コレであなたも国際派～」と題して、ご講演いただきました。

海外での公演の映像を交えながら、外国人の方との接し方や、海外で公演を始めたきっかけをお話いただきました。

そして、落語「味噌豆」の冒頭部分を、イタリア語、フランス語、ドイツ語で披露していただき、序盤から大変な盛り上がりとなりました。

「オリンピック、パラリンピックに向けて、日本語の素晴らしさを再認識して欲しい。一番大切なことは、外国人の方には日本語で話しかけることが最高のおもてなし。勇気を出して、必ず日本語で『お困りですか。』と話しかける。そこから知っている言葉で話し合ったりすることが、深いコミュニケーションになり、心が通じ合うお付き合いのきっかけになる。」と、日本語で話しかけることの大切さや、外国人の方は日本語を聞きたいと思っているということなど、国際派になる秘訣をお話いただきました。

第二部は「Enjoy!2020地域で広がる笑顔の輪」と題し、ライフセーバーの飯沼誠司さん、オリンピック出場経験のある元新体操日本代表の田中琴乃さん、三遊亭竜楽さんによるトークショーを行いました。

飯沼さんからは、ライフセービングの経験談とと

もに、日本AED財団の理事を務められていることもあり、AED使用や心臓マッサージについてのお話をいただきました。

また、来場者に、訓練キットを用いた心臓マッサージを体験してもらいました。「色々なおもてなしはあるが、まずは安心して過ごせることを大切にしたい。」と、安心、安全をキーワードにお話いただきました。

田中さんは、練習拠点をロシアに移した時の、言葉が通じない中でのエピソードをお話くださいました。

「目で相手を見て、何を言っているのかを頑張って聞き出そうという気持ちを大切にしました。通訳の方しか見ずに練習していた際に、『私がアドバイスしているのだから、心と心で、目と目でちゃんと会話しようよ』とコーチから言われ、確かにそうだと感じた。いくら言葉で伝えてくれても、それは通訳の方の声でしかない。話している人の目を見ながら、何が言いたいのだろう、何を伝えたいのだろうと、注意深く聞く姿勢や態度が、心を開くきっかけになると感じた。」とアスリートならではの体験をもとにコミュニケーションについてお話をいただきました。

また、新体操のリボンを披露していただき、間近で見るとも華麗なパフォーマンスに会場は大きな歓声と盛大な拍手に包まれました。

三遊亭竜楽さんから、「海外の人は笑わない人に警戒心を持つ。まず目が合ったら笑顔というのが一つの安心感になる。そして日本語で話かけて異国情緒を味わってもらう。英語ができててもそうすることが、日本での楽しい思い出となる。」と、日本語で話しかけることの大切さをもう一度お話いただきまして、イベントを締めくくりました。

なお、第4回は本年12月14日(土)、成城ホールで開催する予定です。是非ご参加ください。



飯沼誠司さん、田中琴乃さん、三遊亭竜楽さんによるトークショー

地域情報

世田谷地域

いきいき太子堂

太子堂本町町会 会長 神田 安則

古くは大山道（現世田谷通り）の北側に太子堂村はありました。現在の太子堂とほぼ同じ区域と言われています。一丁目は新たに現在の玉川通りが整備され、その後の変更によって加わったのです。三軒の茶屋が出来てから次第にその名が定着していき、現在では太子堂を含めて地域の呼称として三軒茶屋と呼ばれるようになりました。いまでは、太子堂を知らなくても三軒茶屋は知っているという人がほとんどです。

さて、太子堂には7つの町会があります。今回原稿を受け持つのは太子堂本町会です。区域は三丁目と五丁目の一部です。昭和24～25年頃に茶沢通りが開通したため、当時の太子堂商店会を本町会に繰り入れ、旧本通りを境界として太子堂本町会が誕生しました。本町会の学区には、太子堂小学校、多聞小学校、太子堂中学校があります。毎年8月に太子堂小学校で開催される「たいしどうふれあいまつり」は校庭に溢れんばかりの人たちで大いに賑わいます。7月の「中学生と大人のふれあいボウリング大会」、2月の「太子堂こどもマラソン大会」は歩行者天国を利用した歴史ある事業です。この3つの事業が青少年地区委員会の三大イベントです。地区委員会の全てのイベントに太子堂中学の多数の生徒がボランティアとして手伝ってくれます。ふれあいまつりでは中学生手作りのゲームで、集まったこどもたちを楽しませてくれます。また、ゴミの分別も担当してくれます。何事にも積極的に参加してくれま



マラソン大会

す。マラソン大会では1年生から6年生まで1.8kmを伴走者として選手に付き添ってくれます。町会が実施するゴミゼロデーにも先生と一緒に30名前後の生徒が参加して、町会の人たちと町内の清掃を行います。この良好な関係をこれからも続けていきたいと思えます。

太子堂は行事活動の活発な地域です。委員会や協議会もそれぞれに事業を持ち活動しています。身近なまちづくり推進協議会の映像部会では、地域の行事や文化を映像に残そうと活動しています。

我が本町会の特徴は青年部があることです。役員の高齢化が進む町会にあっては頼もしい存在です。祭りは町会で一番の行事です。ここの祭りの特徴はなんと言っても屋台の多さではないでしょうか。西山町会の「太子堂西山囃子」が華を添えてくれます。防災に関しては、サバイバルキャンプ、学校避難所運営訓練、防災訓練を毎年実施しています。小中学生が対象で、中学生が班のリーダーです。心強く頼もしい存在です。

最近では地域の繋がりが薄れてきています。そこで平成30年度は以前のように、全町会参加型の防災訓練を復活させようではないかということになり、平成31年2月24日に実施しました。予定していた参加数を大幅に超え、まずは一歩を踏み出すことが出来ました。参加者からは、「お元気でしたか」「参加して良かった」等々の声が上がリ、和やかな雰囲気にも包まれ終了しました。太子堂はいつもいきいきしたまちであり続けたいと思えます。



ボウリング大会

北沢地域

代沢に住んでよかった

代沢中町会 会長 矢島 嗣久

代沢地区には7町会があり、その真ん中に位置していることから、代沢中町会という名称になっております。町会内には、北澤八幡神社・森巖寺・東京聖三一

教会と、3つの宗教施設が近接して立ち並んでおり、江戸時代の名主であった阿川家を含め、緑豊かな閑静な住宅街です。

行事としては、1学期の終業式の日午後、代沢・池之上小学校の児童を対象に「夏休み子ども会」を開催し、落語会・コンサート・街の探検など、PTAのおかあさん方と相談しながら、その年の演目を決めております。

年度末の3月には、1年交代の新旧班長の顔合わせの会合を持ち、中町会は10地区で構成されておりますので、地区毎に別れて懇談することにより、つながりがより強くなっているように思われます。

宗晴前町会長の時に、D型ポンプ2台を備えてくださったり、防災への取り組みに熱心でしたが、更に体勢を強化するにはと考へ、一時集合所である北澤八幡児童遊園とその上にある神社の境内を開放し、更に病人・妊産婦・赤ちゃんをつれた母親など避難所である富士中学にたどりつくのが困難と思われる方には、社務所を宿泊所として提供しようと考え、現在、世田谷区・代沢中町会・北澤八幡神社の三者協定を締結してほしいと区に申し入れしているところです。

代沢中町会には緑豊かな3つの施設がありますが、私が宮司をしております北澤八幡神社の神楽殿を活用し、9月の秋祭りの翌週の土曜日に「鎮守の杜コンサート」を開催することとし、代沢地区町会連合会の主催で、地元で活動している富士中学校吹奏楽団を始め代沢すみれ合唱団等趣旨に賛同して下さる団体に出演していただいております。

更に発展した催し物として代沢芸術祭が本年第4回を迎えます。3つの宗教施設に加え、私の母校代沢小学校（現在改築中につき、本年は富士中学校）の4ヶ所で、ゴールデンウィーク中の4月27日（土）から5月4日（祭日）の8日間、にぎやかに繰り広げられました。初日は富士中学校体育館で丸の内交響楽団演奏によるオペラ「椿姫」の上演。

2日目から5日目までは北澤八幡神社の神楽殿で日本舞踊・和太鼓・能楽・ヴァイオリンコンサート・デキシーランドジャズと和洋取り混ぜた演目が

繰り広げられ、6日目から7日目は東京聖三一教会でパイプオルガンや南米の民族楽器アルパの珍しい演奏会を、最終日には森巖寺で優雅な尺八と琴の演奏で幕をおろしましたが、町会はこの催し物の黒子役として、設営・片付け・警備を担当しています。

9月には75歳以上の方をお招きし、敬老会を開催し、祝い金を贈呈しておりますが、防犯パトロールでの高齢者の見守りを含む高齢化対策を、従来あまり取り組んでこなかった少子化対策をからめながら見直しをすすめていきたいと考えているところです。

年度最後の事業として「地域の絆連携活性化事業」の補助を受け、震災時における地域社会の役割を考える会を結成し、3月に開催した会合でのグループ討議の発表の中で、代沢に住んでよかったとの発言があり、更に住みよい街にしようとの決意を新たにしたところです。



代沢芸術祭

玉川地域

明るく住みやすいまちづくり

交和会 会長 本田 隆志

交和会は昭和24年に設立され、深沢4丁目と駒沢5丁目にまたがる町会です。今年おかげさまで創立70周年を迎える事が出来ました。

現在1,000世帯の会員の方々々が加入しております。

毎月深沢区民センターにおいて役員会議を行い、会員の方々に行政からの伝達、行事予定等の報告を行っております。

駒沢オリンピック公園に近く、緑豊かな閑静な街並みで、週末には近郊からの多くの人たちが賑わいます。

またこの地域の災害時には、広域避難所にも指定されております。

古く昔、深沢は中村と称され、今でも昔の名称場所が残されています。三島大社の流れを汲む深沢神社で中村八幡神社、中村橋、中村公園等があり閑静な住宅街です。

ここで少し中村八幡神社についてご説明いたします。

明治初年深沢神社が村社に昇格し、旧深沢に8つある氏神を合祀する事になり、中村八幡もその合祀された内の1つでした。しかし後に不幸が続いたことがあって中村八幡を祀り直すことになり、昭和13年に御霊分けをし、現在の地に新社殿を建て分離独立をした鎮守様です。



小規模ながら由緒正しい中村八幡神社

地元では『はちまん』神社と呼んでいますが、古書を紐解くと正しくは『やはた』神社と読むそうで、この神社の祭神は15代応神天皇であり八幡神と同一視され、天皇が神として祀られる『やはたのみ』の『やはた』であります。

近年は、深沢地区に多くの方が転入されており、町会への加入の勧誘も地区役員、また自ら訪問して行うなど、PR活動を積極的に行っております。

会員相互の親睦を図り明るく住みやすい街づくりに向け様々な取組等を実施しております。

毎月2回呑川緑道、4丁目公園の清掃活動、交通安全運動、夏・冬防犯パトロール、D級ポンプ・スタンドパイプの操法訓練、子ども達の見守り、あいさつ運動等さまざまな活動を行っています。

また、毎年秋の季節に日帰りバス旅行等を企画し楽しく活動しています。

災害に対し住民の安全安心を守るため、毎年東深沢中学校で玉川消防署新町出張所のご協力の下、近

隣町会（三友会）と連携をとり避難所運営訓練を体験実施しております。

総務・情報、救護・衛生、避難所、給食・物資の班に分かれて、煙体験、まちかど放水車、AED救急救命、応急手当、担架搬送、マンホールトイレ、災害時特設公衆電話等を全員が体験しております。

昨年は、初めて駒沢公園において深沢地区連合会（10町会）合同で災害対策の訓練が行われ、起震車、煙体験、瓦礫からの救出等が行われました。

特にVR車（バーチャルリアリティー）は360度実体験が出来、会員のみならず一般の方々からも感謝の声が上がっていました。

普段顔合わせできないご近所の方々とのコミュニケーションのとれる場としても運営していきたいと思えます。

また一人でも防災意識を持ちながら、会員の方々がふれあえる場となってもらえたらと思えます。



深沢地区10町会合同防災訓練で大好評だったVR車

※次号は砧地域・烏山地域の情報を掲載します。

町総連ニュース

表彰

▼令和元年6月20日
東京都町会連合会表彰

鮎川 聰雄	理事	(池尻東親会 前会長)
田中 博光	常任理事	(豪徳寺1丁目町会 会長)
三羽 和彦	副会長	(桜新町親和会 会長)

編集後記

「せたがや町総連だより」は、第43号から町会・自治会を通じて回覧されるようになりました。私はこのことを知り、ホームページからたどってバックナンバーを読むようになりました。その後、思いもよらず編集委員を担当することになり、早や1年が経ちました。委員というよりも一読者として、年2回の発行を楽しみにしながら、文化・スポーツ、防犯・防災など町会・自治会の真摯な取組みや活動内容の多彩さに驚いています。

新元号「令和」の年が始まりました。編集委員からは、役員の高齢化、若い入会者の減少などの課題が挙げられます。町会・自治会は活動に参加すればお互いに知りあえることはもちろんですが、非常時にはそのネットワークを活かして支えあえる組織であることを、この紙面でもアピールしていきたいと思っています。

編集委員 網敷 光剛